資料７

今後の取組方針（案）

～誇り・頼もしさ・楽しさが感じられる取組を～

①建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取組みを推進する。

②建設界における担い手の確保・育成をより一層図るため、建設関係団体や関係行政機関等における技術力や建設現場のフィールド、資機材を提供するなど、現場見学会やインターンシップの充実に加え、教育機関における学内実習や講義等のカリキュラムの充実を図る。

③建設界への理解や関心の向上をより一層図るため、既存の社会資本や建設現場、入職者向けメディア等多様な媒体を活用した広報活動や観光と一体となった現場見学ツアー（インフラツーリズム）などの展開を図る。

④新潟、富山、石川の各県部会においては、上記の②、③について、より具体の取組み内容を検討し、実施する。

⑤上記の②、③の取組みに関する実施予定および実施結果等については、関係機関において迅速な情報共有を図るため、メーリングリスト等による情報のワンストップ化を図る。